

2025 年度 岩谷学園アーティスティック B 横浜美容専門学校  
 学校関係者評価委員会報告書  
 (2024 年 4 月～2025 年 3 月)

1 学校関係者評価委員会実施要項

開催日時	2025 年 5 月 23 日(金)16:00～17:30
開催場所	岩谷学園アーティスティック B 横浜美容専門学校 202 教室
参加者	<p>【学校関係者評価委員】</p> <p>松野 功明(代行鈴木様) &lt;関連業界企業&gt; 有限会社サロン・ド・ボーテ・グレース          山内 寿子 &lt;関連業界企業&gt; 株式会社フラタニティ(エステティック H&amp;B)          最上 千香 &lt;卒業生&gt;          我妻紗彩香 &lt;卒業生&gt;          前 静江 &lt;保証人&gt;          有賀 幸子 &lt;保証人&gt;          鈴木 弘文 &lt;地域住民&gt;          松本 康二 &lt;地域住民&gt;</p> <p>【教職員】</p> <p>鈴木 政信 校長          宮田 具 副校長          石崎 淳子 教員          古谷 聖子 教員          荒木美由貴 教員          梅崎 望 教員          森 敦子 本部学生課          手塚 朋子 本部学生課</p>
評価期間	2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日
評価対象	ビューティースタylist科、トータルビューティー科
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2024 年度学校事業概要報告</li> <li>・ 資金収支計算書、事業活動収支計算書</li> <li>・ 授業アンケート集計</li> <li>・ 学校自己点検・自己評価表</li> </ul> <p>(参考資料)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「職業実践専門課程」の文部科学大臣認定について</li> </ul>

■ 校長より挨拶

- ・ 配布資料の説明
- ・ 学校関係者評価委員会について、「業界関連企業」「卒業生」「地域」「保証人」「教職員」より構成され、実施が必須の委員会であることの説明
- ・ 職業実践専門課程について・教育課程編成委員会についての説明
- ・ 委員の自己紹介
- ・ 本日の議事については、学校ホームページにて情報を公開する

## 2 2024年度の学校事業概要報告

学校行事について	
4月5日	2024年度生入学式(ビューティースタylist科 39名、トータルビューティースタylist科 14名、計 53名入学)
4月8日、9日	新入生オリエンテーション(授業開始前に専門学校生としての心構えや、教育システムなどを説明)
4月19日	避難訓練(一時避難場所までの避難経路の確認を含め実施)
4月25日	ボウリング大会(春の交流会。各科で実施。1年と2年の交流を深める)
5月15日	健康診断(健康の状態の確認、疾病の早期発見、予防・改善)
7月11日	芸術鑑賞会(劇団四季による劇の観劇を通して芸術的な感性を養う)
7月18日	学生競技大会(関東地区における理美容競技大会)
9月6日、7日	作品発表会(2年生対象。「authentic」をテーマに校内にて実施)
9月6日、7日	作品展示(1年生対象。モデルウィッグ・モデルハンド・モデルマスク等を使用した作品制作発表)
10月1日	バーベキュー大会(秋の交流会。全校生徒で実施)
11月25日	ネイル EXPO(トータルビューティースタylist科対象。国内最大級のネイル業界イベント。商材から技術まで最先端を学ぶ)
2月13日	合同面接練習会(1年生対象。企業の人事担当者にお越しいただき模擬面接を実施)
3月7日	2023年度生卒業式(ビューティースタylist科 32名、トータルビューティースタylist科 19名、計 51名卒業)
3月17日	マナー研修(ホテルにてテーブルマナーを学ぶ)
● 学校行事は概ね実施できた	
教育交流事業について	
5月中旬～10月中旬	直営店「Beauty Therapy Ai YOKOHAMA」によるフェイシャル体験授業(トータルビューティースタylist科学生が、エステ体験を通して、お客様の立場からエステティックを学ぶ)
5月27日、6月28日	LVMHによる MUFÉ メイク展示授業(MUFÉ トップメイクアップアーティストから、メイク技術を学ぶ)
5月28日	きくや美粧堂によるきくやプライマリーセッション(きくや美粧堂が当校の為に企画運営するヘアショー)
5月30日	フラタニティによるブライダルエステ(ブライダルエステの基礎を学ぶ。お手入れ、注意点、必要性を理解する)
6月6日、13日、20日	ウエラプロフェッショナルによるウエラカラー研修(メーカー最大手のウエララインストラクターより最先端のカラー技術及び理論を学ぶ)
7月2日	グレースによるブライダルヘアメイク(作品発表会に向けて、ヘアメイクの展示授業を実施)

- 7月19日、1月22日 内海による内海シザーズ「刃物工学」授業(ビューティースタylist科はシザー、トータルビューティ科はニッパーの製造過程から材質知識、手入れ方法などを学習)
- 10月8日 TAT によるジェルネイル導入授業(ジェルネイルの検定アートや、応用アートのデモンストレーションを実演)
- 11月20日 セレネイルによる職業人講話(人事担当者から、業界の動向、求められる人物像等を学ぶ)
- 11月27日 ピアス・TBC による職業人講話(人事担当者から、業界の動向、求められる人物像等を学ぶ)
- 11月11日、18日 滝川による美容ライト脱毛講習(美容ライト脱毛の知識と基礎技術を習得する)
- 11月26日 ウエラプロフェッショナルによるパーマ研修 (メーカー最大手のウエラインストラクターよりパーマ技術及び理論を学ぶ)
- 12月4日 TATによるPOPセミナー(商品POPを書くポイントや考え方を学び、実際にPOPを作成してみる)
- 12月9日 望月まりか氏による手作りコスメ(手作りコスメの基本理解。注意点、製造工程の理解)
- 12月10日 ミルボンによるヘッドスパ研修 (ミルボンインストラクターによるヘッドスパ研修)
- 12月18日、1月8日 横浜中年金事務所による年金セミナー(年金の必要性や加入する種別をわかりやすく説明)
- 1月15日 きくや美粧堂によるキャリアパスセミナー(新人教育担当者が、社会人に必要な知識やキャリアプランなどを説明)
- 1月20日 TAT ネイルズインク事業報告部による SNS セミナー(企業の SNS 活用の重要性や、印象に残る写真の撮り方、基本的知識を学ぶ)
- 2月3日～7日 きくや美粧堂によるインターンシップセミナー(5日間でサロンワークの実技や座学を学習)
- 3月10日～14日 協力サロンによるリアルインターンシップ(ビューティースタylist科対象。美容室でのインターンシップを再開)
- 4月～9月 教育連携校による教育交流(半期)講座
- 8月 教育連携校による教育交流(夏期講座)

- 職業実践専門課程に認定されている本校にとって、現場企業の連携により進めている授業などは、学校の特色、強みとなっている部分である

外部からの受託した事業や研修等について

一般社団法人神奈川県専修学校各種学校協会主催による仕事の学び場では、受講生 10 名受け入れあり

在籍者と卒業生数、退学率について

在籍者 ・ 105 名

(2024年5月1日時点)

卒業生 ・ 51 名

退学者 ・ 10 名

退学率 ・ 9.5%

- 退学率を 5%以内に収めることが学校としての目標。退学理由は一つではないが、今後も最低年5回の面談実施など、学生個人とのコミュニケーションを密にしてサポートにあたっていく
- ビューティースタylist科の入学者数は、安定しており、ほぼ定員を確保している

#### 資格取得状況について

##### 〈ビューティースタylist科〉

美容師国家試験合格率 96.9%

神奈川県内合格率最高水準を維持

今年度においては神奈川県トップの合格率

- ・ 1名学科のみ不合格。2025年9月に再受験予定。学校でもサポートしていく
- ・ 「まつげエクステンション技術者認定」は、美容師国家試験合格者のみ受験可能。合格率は74%

##### 〈トータルビューティー科〉

- ・ 「AJESTHE 認定上級エステティシャン」「AJESTHE 認定エステティシャン」は合格率100%
- ・ 「日本化粧品検定」はここ数年受験者数増加傾向
- ・ トータルビューティー科は、コースにより受験資格が異なるため、校内受験可能資格は多岐にわたる

#### 卒業生の進路状況について

##### 〈ビューティースタylist科〉

就職率 100% (美容師 96.9%、アイリスト 3.1%) ※一時的な仕事に就いた者含む

卒業者に占める就職者の割合:100%

- ・ 学生本人が探してきた求人については、実際の仕事内容よりもイメージが先行し、ミスマッチが起こる場合があるため、より丁寧なサポートを心掛けている

##### 〈トータルビューティー科〉

就職率 94.7% (エステティシャン 55.5%、ネイリスト 27.8%、ビューティーアドバイザー/販売員 16.7%) ※一時的な仕事に就いた者含む

卒業者に占める就職者の割合:94.7%

- ・ 学生本人が探してきた企業であっても、内定後の研修等を経て、少しずつずれを感じる学生が多い
- ・ 例年ビューティーアドバイザー希望者は多いが、今年は少なかった
- ・ 最近の就職状況は、「早期化」かつ「長期化」。決まる学生は「早期」に決定する一方で、決まらない学生は、「長期化」している傾向がある

- 本校の就職サポートは、学校と、本部学生課(就職担当)が相互に協力し合って進めている

#### 教育環境の充実化

##### 〈設備について〉

- 学生使用PCを全てタブレット型 PC へ入れ替え完了(キーボードとタッチパネルを両方使えるタイプに変更)
- 教職員用の印刷機(職員室内に設置)を最新モデルに変更
- 校内の照明全てを LED に変更

##### 〈教員配置について〉

- ここ数年卒業生の教員、講師が増えてきている。今後も学校として卒業生とのつながりを大事にし、この流れを継続していきたい

##### 〈学生支援について〉

- コロナ禍以降中止となっていたビューティースタylist科対象のインターンシップを再開。今年度は希望者のみ参加した
- 学生の経験値アップのために、校内ディスプレイを行事に合わせて積極的に変更する取り組みを開始

#### 財務状況

- 収支結果についてはプラス計上となっており、健全な経営ができていると言える
- 学校としては、このままプラスの経営を維持していくことが大事
- 設備投資があったものの、黒字計上に落ち着いたことは良かった点

### 3 基準項目ごとの学校関係者評価・意見等

2024 年度の自己点検評価報告をもとに、基準項目ごとに学校から説明がなされ、評価を行った

評価項目		評価
1	教育理念・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校の教育理念、目的、育成する人材像は明確で、全教員には理解されており、さらに学生・保証人(保護者)・学外の方に対しても周知されている印象である</li> <li>・ 変化の激しい業界のため、動向を注視し、外部の見識者のアドバイスも参考にしながら教育システムの改善を常に行っていく意識がある</li> </ul>
2	学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全般的に順調であり、学園や校内の各種規則・規程、マニュアル等について、学園内の教務会議を中心に策定、改訂等が継続的に実施されている</li> <li>・ 情報システムによる業務効率化も進んでおり、一定の成果を上げていると評価できる</li> </ul>

3	教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育理念に沿った教育課程の編成や「教育ストーリー」の設定など、全般的に見て順調に推移していると判断できる</li> <li>・ 産学連携授業(高度美容技術)については、技術の向上のみならず実際の業務に有益な実践的なカリキュラム(セミナー実施等)に積極的に反映・実施されており、学生が多方面から美容に関する興味・関心を持てるように工夫している点は大いに評価に値する</li> </ul>
4	学修成果・教育成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各種資格取得状況については、上位資格や新しい資格にも積極的にチャレンジする学生が増えており、今後も継続してくことを期待する</li> <li>・ 就職率は担任、本部学生課(就職担当)、企業との連携により高い数値を維持しており、手厚いサポートがなされていることがうかがえる。しかしながら企業より内定が出たあとに、具体的に働くというイメージがつかめず、進路に迷いが生じる学生も一定数いるため、より一層寄り添ったサポートを行っていく</li> </ul>
5	学生支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 退学率の軽減を目指し、現在最低でも年5回の学生面談を実施したり、担任以外の学生へのコミュニケーションも図っているが、引き続き学生が安心できるような環境づくりを心掛け、学校全体でサポートしていくことを期待する</li> <li>・ 卒業生の動向把握がここ数年の課題となっているが、このたび校友会において新たなシステムが始動したことで、今後は卒業生の動向を把握し、支援を図れることが期待できる</li> </ul>
6	教育環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設設備や、教材備品については、教育上の必要性に十分に対応できていると評価できる</li> <li>・ 防災、安全管理においても、組織体制を整備して適切に運用できているといえる</li> <li>・ コロナ禍より止まっていた国内サロンへのインターンシップは再開できたが、海外研修旅行については引き続き停止中であるため、今後は再開を目指して準備を進めていくことを期待する</li> </ul>
7	学生の受け入れ募集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学生募集活動は、協定等を遵守し、公正かつ適切に行われていると判断できる</li> <li>・ ビューティースタylist科は募集定員を例年ほぼ確保しており、トータルビューティー科は、ここ数年減少していた入学希望者が、昨年度は向上したことなどから、学校と入試広報課との連携による学生募集の努力の成果がでていると感じる</li> </ul>
8	教育内部質保証システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされ、業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されていると評価できる</li> <li>・ 個人情報の保護や肖像権、著作権の取り扱いについても適切に情報を収集し対応していることがうかがえる</li> <li>・ 学生や教員に対する啓蒙活動も定期的に行うことができています</li> </ul>
9	財務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育の質を担保しながら支出を抑える工夫をしたことは大いに評価できる</li> <li>・ 現段階では財務基盤は安定していると判断できる</li> </ul>

10	社会貢献・地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在、一部の高校と教育連携活動をキャリア教育として実施しており、地域に根差した学校教育を積極的に行っていることがうかがえるが、教育訓練(職業訓練)においても、積極的に協力していきたいという姿勢があり、評価できる</li> <li>・ コロナ禍では困難な状況であった、トータルビューティー科による高齢者施設へのボランティア活動が再開できている。今後もボランティア受け入れ先の新規開拓を積極的に進めて継続していく姿勢は評価できる</li> </ul>
11	国際交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 留学生がエステ・ネイル・メイク関連で就業することは、依然法律的にも難しい状況であるが、教職員においても、留学生における異文化の習慣や価値観等を理解、学習する機会を設け、学生教員双方で就職実現を目指していく</li> <li>・ 今後美容業界においてもインバウンドの需要がますます増加していくと思われるため、本学園で受入れている留学生との交流の場を設けるなど異文化に触れることで、グローバルな視点・感覚を持つ社会人の育成も目指してほしい</li> </ul>

#### 総評

学校関係者評価委員会として、岩谷学園アーティスティック B 横浜美容専門学校の学校評価は概ね「適切」と判断・評価できる

入学から就職へ向けて関係部署が連携して一貫した指導を行っていること、教育ストーリーの構築・見直し・更新を常に実施している様子が明確に示されていることは高く評価できる。連携企業など外部からの情報を積極的に取り入れ、カリキュラムへの反映の模索も学校全体で取り組むことで、教育目標や理念の個々人への定着が実現していると思われる

学生一人一人が明確な目標をもって学生生活を送れるよう、また、就職後も継続して社会貢献していけるよう、支援を継続して行ってほしい

教育信条である「職業人教育」を進めるにあたり、ボランティア等地域貢献・社会貢献体験も重要と考える。どのような形で実現できるか、更に研究を重ねて形にしてほしい。そして、社会のニーズを的確にとらえ、社会が求める人材を育成する専門学校としての使命を果たしていけることを期待する